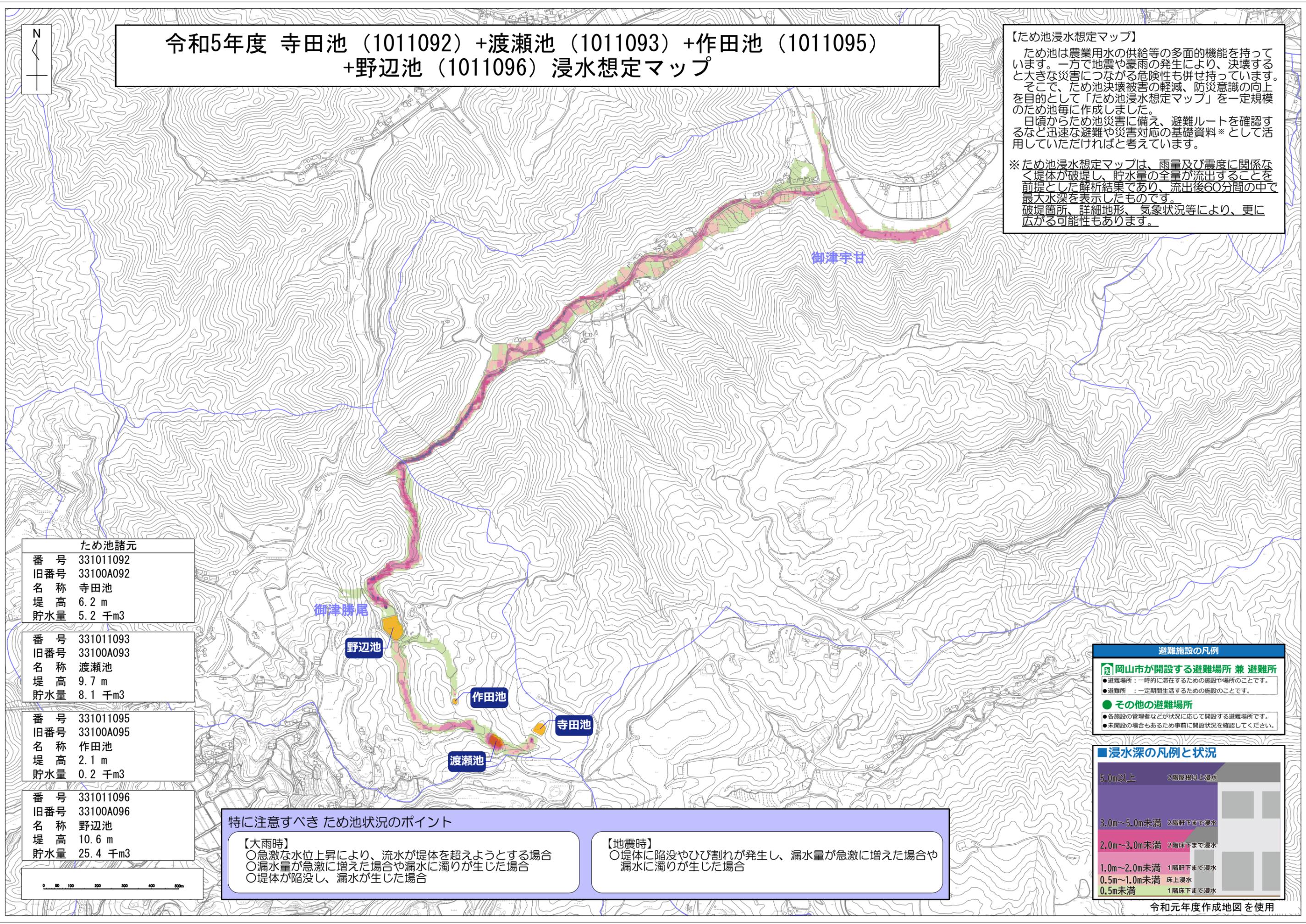


# 令和5年度 寺田池（1011092）+渡瀬池（1011093）+作田池（1011095） +野辺池（1011096） 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】  
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。  
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料\*として活用していただければと考えています。

\*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。  
 破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元	
番号	331011092
旧番号	33100A092
名称	寺田池
堤高	6.2 m
貯水量	5.2 千m3

番号	331011093
旧番号	33100A093
名称	渡瀬池
堤高	9.7 m
貯水量	8.1 千m3

番号	331011095
旧番号	33100A095
名称	作田池
堤高	2.1 m
貯水量	0.2 千m3

番号	331011096
旧番号	33100A096
名称	野辺池
堤高	10.6 m
貯水量	25.4 千m3

## 特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】  
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合  
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合  
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】  
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

避難施設の凡例	
	岡山市が開設する避難場所兼避難所
●	避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。
●	避難所：一定期間生活するための施設のことです。
	その他の避難場所
●	各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。
●	未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

浸水深の凡例と状況	
5.0m以上	2階屋根以上浸水
3.0m～5.0m未満	2階軒下まで浸水
2.0m～3.0m未満	2階床下まで浸水
1.0m～2.0m未満	1階軒下まで浸水
0.5m～1.0m未満	床上浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水